

北九州市民の会ニュース

「学校給食の無償化をめざす会」第 2 回学習会

無料で安心・安全の学校給食

実現させよう!



署名 5万筆あつめる、

来秋までに、全議員へ協力要請

10月7日(土)午前、戸畑生涯学習センターで、「学校給食の無償化をめざす会」主催の学習会が開催され、50名が参加しました。

3地区(小倉・八幡・若松)から生き生きとした活動報告があり、無料化を実施している行橋市の実情について行橋市議から話を聞きました。

討論・意見交換によって、北九州市の学校給食の現状の問題点が浮き彫りになりました。北九州周辺では、15自治体で無料化が実施されているのに、北九州市は、9月議会では、「実施できない」という議論に終始しています。

「めざす会」の行動提起としては、5万筆を目標に、①請願署名を来秋まで取り組む。②そのために、全議員に請願署名の協力要請をすることを確認しました。

「運動の輪は広がっています。頑張りましょう。」と意思統一しました。

ご案内

大軍拡・大增税許すな!戦争させない!

11.3 北九州集会



とき 11月3日(祝 憲法公布の日) 14時から

ところ 小倉北区 米町公園 終了後、JR 小倉駅ペDESTリアン デッキなどで宣伝行動を行います。

●佐賀県の「オスプレイ裁判支援市民の会」、大分県の「大分敷戸市民の会」から特別報告があります。

岸田内閣の安保3文書閣議決定以降、各地で急速に軍事強化=戦争準備が進められています。それは南西諸島だけではなく、福岡でも佐賀でも大分でも、九州各県に広がっています。しかし、みなさん!大軍拡は現行憲法の下で許されるはずがありません。憲法のカと市民の力で軍拡を止めましょう!今こそ、武力はいらない!憲法で平和な社会を実現しよう!の声をあげようではありませんか!

平和をあきらめない北九州ネット 北九州市小倉北区金田2丁目6-4 TEL:093-571-4688

わかまつ九条の会結成 19 周年記念 小森陽一講演会

憲法 9 条で「大軍拡」阻止へ

10 月 8 日 (日) 14 時から若松市民会館で、わかまつ九条の会結成 19 周年記念集会を行われ、小森陽一さんの講演会が開かれ、200 名ほどが参加しました。「ウクライナ侵略と憲法九条」と題し、以下の 4 節に分けて諄々と話されました。

- ① ロシアのウクライナ侵略から 1 年半
- ② 岸田文雄政権の危険な「戦争する国」づくり
- ③ 安倍軍拡政治を受け継ぐ岸田政権
- ④ 「大軍拡」を阻止する憲法 9 条の力

「わかりやすい話で理解が深まった」「憲法 9 条の力を信じ、確信をもって活動したい」という思いを共有できました。



戦争する国づくりに推し進める岸田政権ストップを呼び掛けた小森陽一さん

ご案内

北九社保協通信

報告・資料集 2023 年 9 月号
9 月 29 日 事務局発行

STOP！インボイスに向け、学習と宣伝行動を実施

全国で広がっている「インボイス制度反対・中止」の運動ですが、ここ北九州でも10月1日からの強硬を何としても阻止しようとする民商を中心とした消費税法止北九州市各界連を先頭に最後の奮闘を行っています。この間、北九社保協も連携し「インボイス制度がわかりにくい」との声に独自で民商の方を講師に招き学習会を実施しました(7月27日)。参加者からは「丁寧に教えてもらってよかった。これで反対署名もすずんで声かけができる」といった感想もあり、民商北九州協議会岩下会長の「インボイスは受発注どちらの業者も強硬な制度を分かりやすく説明する小倉民商の西事務局長」に「とても不利益しかないものでもない制度。消費税の増税にくわえ廃業に追い込まれる業者が出てくるだけでなく、長年、信頼関係を構築し取引してきた業者との人間関係の分断にも繋がるもの」との発言に、何としても阻止に向けて運動をすずめようとおためて参加者で意思統一をおこないました。また、「10月実施はインボイス制度ではなく、消費税5%への減税」を訴える9.29怒りの衆民集いに連帯し、北九州小倉地区では9月25日に小倉駅前宣伝行動が実施され(八幡地区でも黒崎駅前で実施)、北九社保協も連帯し参加しました。各界連加盟団体よりマイクでルーロークをおこない、道行く方々にピラを配布し署名のお願いをおこないました。訴えに足を止めて署名する人やピラを見ながらわざわざ戻ってきて署名される方など関心の高さが増えました。また、50万筆を超える署名を手渡したの開催された国会前集会では反対する多くの人々が集合するなど世論を巻き込んだ運動となっています。STOP！インボイスに向け私たちの声が少しでも政府に圧力を与えられればと思います。



「現行の保険証を残して」宣伝行動に参加

マイナ保険証実施に向けては全国各地で問題が報告され、反対・中止を求める運動が民医連でも提起される各法人で運動が取り組まれているところですが、「現行の保険証を残してください」の1点に絞った新たな取り組み提起がされ、北九州の健和会でもさっそく各事業所で宣伝行動が実施されました。大手助産院ブロックでは病院前の交差点で9月25日に朝、8時から早朝スタンディング宣伝が行われ北九社保協も参加してきました。「保険証をなくさないで！」の新しいのぼりやプラスターを掲げ、通勤・通学途中の道行く人々やドライバーに向けてアピールを行いました。目の前がバス停というところもあり、バスの乗客への注目度は抜群でインバトのある宣伝行動になったと思います。健和会内の各事業所でもそれぞれ工夫を凝らし宣伝行動を実施する予定です。そもそもマイナンバーカードの取得は義務ではありません。また、障害者の方などマイナンバーカードを取得するところからの問題も浮き彫りとなっています。健康保険証廃止は国民皆保険制度の根幹を揺るがし、受療権を脅かすものです。「健康保険証をなくさないで」の運動をさらに大きなうねりとし、現行保険証存続とマイナ保険証の中止に向けて決意を新たにしたところです。



第43回福岡県自治体フォーラムの御案内

「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題 ~多様なあふれる新時代をどう創るか」

11/12(日)

どなたでも気軽に参加

＜時間＞ 9:30 受付、開会 10 時、閉会 16 時
 ＜会場＞ 西南学院大学・西南コミュニケーションセンター (地下鉄西新駅 3 番出口)
 ＊駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください
 ＜主催＞ 公益社団法人 福岡県自治体問題研究所
 812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-19-3-508 Tel・Fax 092-472-4675
 jiti@ked.biglobe.ne.jp https://jitiken.jimdofree.com
 ＜参加費＞ 1000 円 (会場費・テキスト代)

シンポジウム・「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題 ~多様なあふれる新時代をどう創るか」



＜基体み・昼食は各自で御持参ください＞

- ＜分科会・13時～16時＞
- ① 憲法と平和・オスプレイ問題分科会
 - ＊コーディネーター(問題提起 石川捷治・九大名誉教授)
 - ＊憲法問題の現局面と課題を考える(村井正昭・弁護士・9条の会福岡県連絡会事務局長)
 - ＊佐賀空港オスプレイ等配備を考える(梶島敏雅・弁護士・柳川市在住)
 - ② 地域交通問題分科会(6/3総会記念シンポを受けて)
 - ◎JR九州・地域鉄道問題のポイントは何が(赤塚隆二・鉄道問題研究者・ジャーナリスト・「清張鉄道1万3500キロ」著者)
 - ◎JR問題と公共交通政策のありかた(遠藤隆二・元九州大学准教授)
 - ③ 食料・農業問題分科会
 - ◎「山下惣一さんの辿った人生から、なにを学ぶか」(佐藤弘・西日本新聞元編集委員・「山下惣一聞き書き」振り返れば未来!の筆者)
 - ④ まちづくりと福祉分科会
 - ◎「児童虐待・家庭DV・独居老人介護→行政と地域の課題を考える」(羽田野盛仁・福岡県自治体問題研究所事務局次長)
 - ◎「災害時避難支援「指針」の変遷から見る民生委員制度の諸問題」(杉谷雅博・埴野市民生委員・児童委員)
 - ⑤ 関東大震災と朝鮮人虐殺問題を考える分科会
 - ◎ドキュメンタリー映画「隠された爪跡」(呉充功・監督作品)を見て考える
 - ＊解説は松岡節子・会員(朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク会員)
 - ＊呉充功監督と在韓の御遺族も特別参加・発言
 - ＊映画使用料としてこの分科会だけ500円別途徴収
 - ⑥ 特別講座・映画を楽しみ学ぶ
 - ◎映画「蟹工船」(監督・山村聰)に学ぶ歴史の教訓
 - ◎講師・矢野寛治(映画評論家・作家)

